

川崎区の役立つ**福祉情報**をお届け～

ウェーブ

平成 27 年 7 月

第 93 号

 川崎市社会福祉協議会福祉バルかわさき

発行 社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会 福祉バルかわさき
 川崎市川崎区日進町 1-11 川崎ルフロン 8 階
 電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741 Email info@kawasakishakyo.or.jp
 川崎区社協ホームページ <http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/>



〔発行人〕
富田 順人

〔編集人〕
編集委員会

目 次

- 1 「ウェーブ」生まれ変わりました！
- 2 平成 27 年度 事業計画
賛助会員募集！！
- 3 あなたの身近な
地区社会福祉協議会の活動等紹介
・大師第三地区社協 ・大師第四地区社協
- 4 ・中央第一地区社協 ・中央第二地区社協
- 5 ・渡田地区社協 ・大島地区社協
- 6 ・大師第一地区社協 ・大師第二地区社協
- 7 ・小田地区社協 ・田島地区社協
- 8 ゆかいなコンサート
だいし健康福祉まつり
ほほえみコーナー
譲ります・譲ってください

イメージキャラクター
ウェーブくん



川崎区社協広報紙

「ウェーブ」

生まれ変わりました！

区民のみなさまに、より読まれ、愛される広報紙を目指し、各地区社協から編集委員に入っていただき、区民の身近な話題や地域の楽しい記事を掲載していけるように努めていきたいと考えております。ページも4ページから8ページに紙面を増やし、発行は年3回（7月1日、9月1日、2月1日）を予定しております。ぜひ、ご期待ください。



委員長 平野 忠雄

皆様、こんにちは、少々ご挨拶をさせていただきます。

始めに、誰もが安心して暮らせる福祉の街づくりを、日々推進されている皆様に、深く感謝申し上げます。これらの活動や成果を区民の皆様に、広報紙「ウェーブ」にてご紹介していく所存です。

今年度から、10の地区社協から選出された委員が参画して、更に楽しく読んで頂き、皆様のためになる内容の充実に向けて、広報活動を推進していきたいと思っています。

最後に、子育てをするカップルから福祉を必要とするお年寄りまで、全世代に焦点を当てた紙面作りを目指したいと思っています。

編集委員紹介

委員長

平野 忠雄

副委員長

井上 秀夫

新井 トキ子

木島 芳克

小林 貴美子

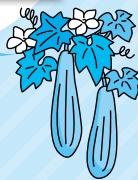
齋藤 幸一

佐川 价一

畑 敏雄

丸野 喬敬

峯澤 政子



あなたの身近な 地区社会福祉協議会の活動等紹介

大師第三地区社協

社会福祉協議会に対する想い

理事 倉形 政宏



誰もが（小生も近い将来）安心して暮らせる福祉のまちに思いを馳せると思いますが、我々が何をしたらよい？ どうやったらよい？ 個人で出来る事は、限度がありますが、志を互いに共有し考え協力しあい、推進して行く事が必須であると思います。

これは、中高年の課題にして置くだけで無く、若者にも関心が持てる活動が出来れば素晴らしいと思います。

最近メディアで、地域福祉についての番組を視聴しましたが、『福祉のメガネ』で見えることを提言された方がおり個々の活動を町内から地域活動へ、



研修場所：日光市養護施設 社会福祉法人 大室さくら苑

これを行行政へと繋げる道筋を明確にする福祉のダンスがポイントであると話されておりました。やはり具体的な目標を持ち、ちこつこつと解決し、後戻りせず前進がカギだと思います。

直近活動は、特別養護老人ホームで研修させて頂き、地域福祉活動が活性化しており利用者のリハビリ介護充実に感銘を受けました。皆さん生き生きと先ずは、発声練習から笑顔が素晴らしく、訪問者が元気を頂いて参りました。

大師第四地区社協

大師第四地区社協活動状況について

前会長 荒金 繁



福祉体験授業

当地区社協は7町内会の役員・民生児童委員・ボランティアの36名で、理事会・運営委員会・4委員会（総務、広報、研修、会食）が、賛助会員増強運動、各種募金活動、社明運動への協力、「災害時要援護者避難支援制度について」の講演会開催など、関係機関と連携協同し、地域福祉の充実を目指しています。

年9回のふれあい会食会では、地域のボランティアの皆様や保育園児との交流で、利用者の皆様と親睦を深め和やかなひと時を過ごします。

区地域保健福祉課と合同で講演会を開催、シリーズの健康体操、介護福祉士の皆様の指導で東門前小4年生を対象にした福祉体験授業の支援、26年度の施設研修では群馬県の実験資料館を訪れ研鑽しました。



健康体操

平成27年度 事業計画

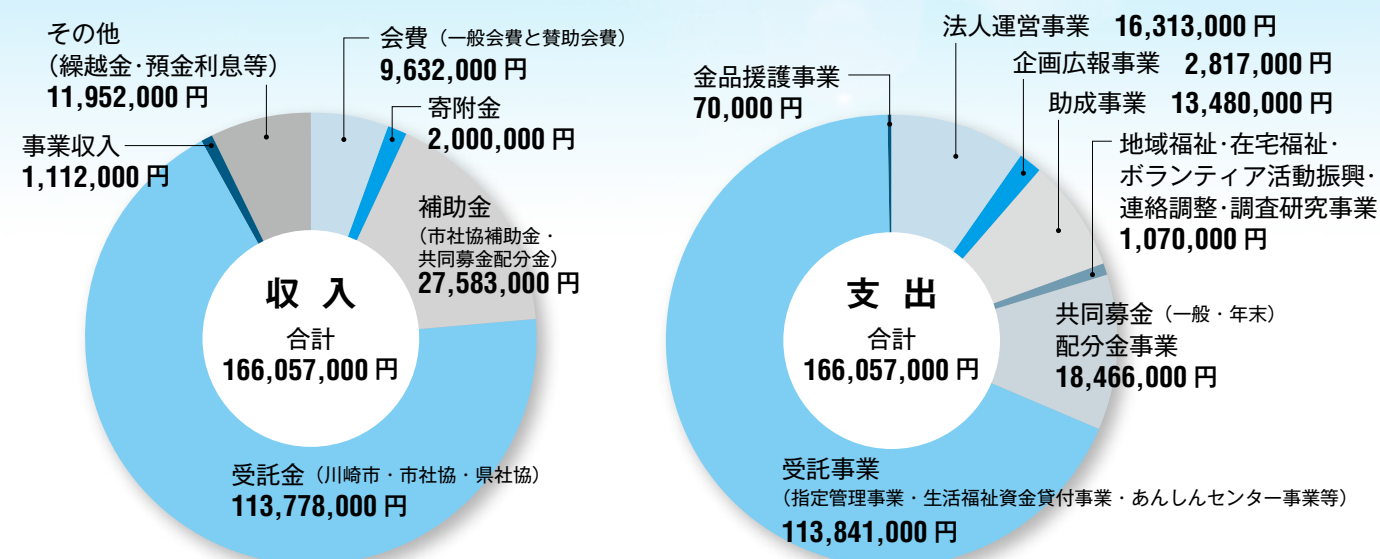
重点項目

- ◎新たな制度を見据えた地域福祉活動の現状把握と検討
- ◎地区社協との連携による地域福祉活動の充実
- ◎指定管理事業の拡充
- ◎広報内容の見直しと魅力ある情報の発信
- ◎法人組織基盤強化に向けて検討の継続

主な事業

- ◇新制度を見据えた地域福祉活動実態調査の実施
- ◇川崎市社協福祉まつりの開催（11月28日）
- ◇老人いこいの家、かわさき老人福祉・地域交流センターピンポン大会&カラーリング体験（10月21日）
- ◇広報紙編集委員会による広報紙ウェブのリニューアル発行
- ◇会員増強（継続事項）及び会員規程の見直しについての検討

川崎市社協のスローガンは
つながりを育て、
暮らしのあんしんを
支えあう地域づくり
か輪さきを
めざして
です！



賛助会員募集!!

賛助会員とは？

社会福祉協議会の趣旨や目的に賛同し、支援をする協力者のことです。

賛助会員が納める『賛助会費』はお住まいの地域がいっそう住みよい街となるために、川崎市社会福祉協議会と区内10ヶ所の地区社会福祉協議会の進める様々な福祉活動に役立てられています。

〈使 途〉

川崎市社会福祉協議会の事業

- ・車いす、こどもニコニコグッズ、高齢者疑似体験グッズの貸出
- ・区社協広報紙『ウェブ』の発行
- ・川崎市社協福祉まつりの開催
- ・社会を明るくする運動への支援 など

川崎区内10地区社会福祉協議会の事業

- ・ふれあい活動事業（会食会、ミニデイサービス他）
- ・地区社協広報紙の発行
- ・地域福祉講演会
- ・社会を明るくする運動への支援 など

賛助会費

年会費：1口（1,000円）から

お問い合わせ・連絡先

社会福祉法人
川崎市川崎区社会福祉協議会
電話 044-246-5500
FAX 044-211-8741

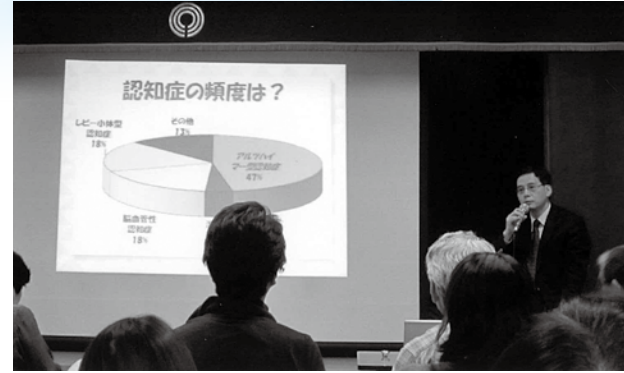
賛助会員募集の際は、
地域の地区社協の関係者が
お宅にお願いにあがります。

今年度もご協力くださいますよう、
どうぞよろしくお願い申し上げます。

渡田地区社協

小地域の見守りネットワーク活動

副会長 峯尾 照



研修会の様子

渡田地区（9町内会）では平成11年より民生委員によって地域の実態調査し年々増え続ける独居老人や虚弱なお年寄りに支援活動を行う「小地域の福祉ネットワークづくり」に向けて、民協と町内会が協力して地域の助け合い・支え合い活動の取り組みを開始した。

「福祉協力員制度」を設置し、民生委員をサポートする。現在福祉協力員107名。

福祉協力員は各町内会ごとにリーダーを選出し連絡協議会（年1回）を開催

年一回交流と自己研鑽のために



松井会長から開会のあいさつ

合同研修会を開催。（当日参加OK。渡田いこいの家）

災害時支援体制図を民生委員が担当地区ごと各町内会にまとめ作成。

見守りは、普段買物に行く時等
―新聞がたまっている
―何日間も雨戸が閉まっている
―夜電気がついていない
―何日間も同じ洗濯物が干してある等

「さりげなく見守り」日常生活でいつもと違うと思ったら民生委員に連絡し対処する。地域で安心して暮らせるまち、住民同士の支え合いやつながりを大切に、見守り活動に取り組んでいる。

大島地区社協

第3回福祉協力員委嘱式を実施

会長 富田 順人



川崎区社協の会長でもある富田会長

今年の6月に大島地区の福祉協力員第3回委嘱式が行われました。川崎区では高齢化が進み「小地域見守りネットワーク事業」を推進しています。その中で、地域に福祉協力員を置くことができるとしています。民生委員一人に対して若干名です。

福祉協力員の役割として具体的には、一人暮らし高齢者等を含めた高齢者世帯に対して、郵便物や新聞等を取っていない、昼間なのにカーテンが閉まっている、電灯が点けっぱなし、夜でも点灯していない、ゴミを出す様子が無い等の状況を確認してもらいます。

もう一つ児童も見守っていただきます。いじめが見られた、不登校、しばしば悲鳴が聞こえる（虐待の恐れ）等を注意してもらいます。そしてこれらの事が見受けられたら、担当の民生委員に情報提供していただきます。

平成17年11月に第1回委嘱、平成22年2月に第2回委嘱があり、今回が3回目です。地域の方々が安心して住み続けられるよう、福祉協力員の皆様の地道な活動に感謝と期待をしております。

中央第一地区社協

安心して暮らせる町を目指して

婦人部長 西川キミ子



先日、4月3日、ふれあい会食会「芙蓉会」が開催され、今回はお花見会、午前10時半、「おはようございます」と元氣な利用者の方の声、「あ、いらっしやい」「寒くなかったですか?」とボランティアの声、この会にきて下さることで、とじ込め防止、認知症予防、心身の機能低下の予防につながるのでは、と思います。

川崎区中央第一地区社協は、昭和36年4月、社会福祉関係者並びに、社会福祉に関心を持つ者が協力し、住民の福祉の増進を図ることを目的として設立されました。

当会は、16の町内会で構成され、常任理事、役員、専門部長により福祉関連事業に携わってまいりました。

住み慣れた町で高齢者へのすこやか支援事業として、昭和61年4月から始めた「ひとり暮らしの老人会食会」、現在は、ふれあい会食会「芙蓉会」の名称で年7回開催され、16町内の婦人部ボランティアが手作りの食事を担当、健康で安全安心

心、何より楽しい毎日を過ごせるよう、医師、警察、消防、福祉関連行政の方などのお話し、ゲーム、折り紙、歌、体操など毎回催しも企画しています。

先日は、4月3日、ふれあい会食会「芙蓉会」が開催され、今回はお花見会、午前10時半、「おはようございます」と元氣な利用者の方の声、「あ、いらっしやい」「寒くなかったですか?」とボランティアの声、この会にきて下さることで、とじ込め防止、認知症予防、心身の機能低下の予防につながるのでは、と思います。

中央第二地区社協

「国立ハンセン病資料館」視察のご報告

広報部長 平野 忠雄

中央第二地区
社会福祉協議会は
年1回、視察研修を目的に
バス旅行を行っています。

その後、武蔵野の水と緑と寺と蕎麦で有名な深大寺に移動し、厄除・家内安全・身体安全・交通安全・無病息災の祈願をしました。

最後は、広大な敷地内の「江戸東京たてもの園」で文化的価値の高い歴史的建造物を見学しました。「高橋是清邸」などの歴史を伝える建物が復元・展示されていました。

参加メンバーは車中・昼食時・見学中も親しく交流でき、大いに懇親を深めることができました。

平成26年11月14日の視察研修会に60名が参加しました。最初に多磨全生園の一面にある「国立ハンセン病資料館」を見学し、ハンセン病患者・回復者が生き抜いてきた証を残し、私たちの社会に同じ過ちが繰り返されないことを願って、回復者が自ら設立し、活動してきた博物館を見て、強く胸を打たれました。ハンセン病はらい菌による感染症で、現在では有効な治療薬が開発され早期治療により治るようになりました。



江戸たてもの園に寄りました



昼食は懇親の場で苦労話などで盛り上がります



参加者は熱心に視察しました



広大な多磨全生園の一面に国立ハンセン病資料館があります

小田地区社協

冷蔵庫にあるもので手軽に一品

副会長 畑 敏雄

おいしそうに
焼き上がり
ました！

作りたい、のり巻きの作り方を教えてな
どリクエストが
あり、次回の再
会を約束して閉
会となった。関
係者の皆さん、御
苦労さまでした。

い この家団塊向け講座として男
性料理教室を開催して3年目。
今回は、平成27年1月29日、京町い
こいの家に18名の男性が各自エプロ
ン・三角巾姿で集合。食材費として
200円を徴収。全員やる気満々で
小田地区社協婦人部の協力をいただ
き、レシピ、実習説明をする。調理ス
ペースの狭隘の問題もあり、メニユー
は軽食を主体として「ピザトースト」
「サンドイッチ」「スープ」とした。参
加者を4班に分けて調理開始。手際の
いい班、食材配分を間違える班、レシ
ピを逸脱する班など出来映えはまちま
ちであったがおいしそう。全員あるこ
とをやり遂げた充実感が顔にみなぎ
り、「いただきます」を合図に食事会
開始。なかなかの美味、なごやかな雰
囲気が漂い、講座の目的が十分に達成
された。意見交換会では、共同作業は
楽しい、家で作ってみたい、酒の肴も

田島地区社協

灯台下暗し「姥ヶ森弁財天様と古井戸の由来」

会長 大橋 新太郎

灯 台下暗し知ら
れざる姥ヶ森
弁財天様と古井戸の
由来である。

伝説の始めはなんと
云っても弁財天と古井
戸が実在しているから
である。何故最近まで

曖昧な物語りの伝説で古老の多く
の流言飛語が恰も真実と受けとめ
られ「多分そうだろう」が「そうだ」
になっていったようである。

由来を探究するには渡田二丁目
は新田神社と深い関係にあり鎌倉
時代からの領主で亘新左衛門、源
早勝（新田義貞公の家臣）の土地
でごく最近までは姥ヶ森町内会館
は新田神社の土地であった（区画
整理で購入）。

明治初期の頃、この辺は小高い
丘で裾は松林で沖を通る船は松林
を目標にして漁に出たと云う。そ
こに新左衛門の隠居所と見られる
潰れ屋敷に古井戸となにやら神様
を祀ったらしい祠があった。村人
たちの話題が新田神社の土地だか
ら稲毛神社の神官に観てもらおう
と云うことになり観てもらったと
ころ意外も意外霊験あらたかな「イ
ンド」の女神で弁舌、才知、音楽



に長じて無量の福德を与
える弁財天（七福神）の
一つである事が判った。
この儘潰れ屋敷に野
晒にも出来ず神社の氏
子総代と相談の末新田
時代の御守本尊として
お堂を建立してお祠を
していたが明治12年頃に新田神社
の境内に移転をした。その時は無
銘の弁財天であったが稲毛神社の
神官の粋なお計いで姥が棲んでい
た森だから姥ヶ森弁財天と命名さ
れて現在に至っている。又、古井
戸の水は御神水として毎年8月2
日に汲み上げ新田神社に奉納して
稲毛神社の大御神輿が新田神社に
渡御の際にお清めの御神水として
お掛けをする、これを怠ると大御
神輿は暴れ狂うと云う伝説がある
とも云われており本当にあったと
云うことも聞いている。又銅管通
三丁目にある姥ヶ森弁財天も地域
の人達や遠方の人達の信仰も厚く
静かな佇いの中に、お参りに見え
る人も結構ある。毎年五月の第三
日曜日には弁財天様のご祭祀があ
る。皆様も是非ともお参りをなさ
いませんか？ 無量の福德のご利
益が授かりますように……

大師第一地区社協

歴史文化伝統を守り、子どもから高齢者まで
世代を超えた交流地区へ

会長 青山 正明



藤崎ふれあい喫茶
「K&Kコンサート」
(ライフコミュニケーションにて)

大師第一地区社協は、伊勢
町・川中島・大師駅前・
大師中町・藤崎の五町内会で構
成される人口約2万人、65歳以
上の高齢者率24・4%、大師第
一地区民児協と藤崎地域包括支
援センターの担当で事業の協働
が容易な地区。
また川崎大師平間寺・若宮八
幡宮・川中島神明神宮があり、
歴史・文化・伝統を共に協力し
次世代への継承が大事な地区で
もある。
社協を構成する各町内会に
は、人口・町民の年齢構成・住
居形態にも大きな偏りはある
が、社協の目的は未成年者・高
齢者・障害者等で公的支援を必
要な人たちに支援が受けられる
ように努めること。
未成年者について、子どもの
通学・下校時の安全パトロール
や子育て支援を、高齢者・障
害者については、包括支援セン
ターの指導による小地域包括ケ
ア会議で、高齢者見守りシステ
ムが藤崎で始まり川中島も実施
へ、他の町内会も地域の状況見
合う事業を開始。
また地区でもポスト団塊世代
人口が非常に少ない地区。そこ
で子どもから高齢者まで世代を
超えた交流会「藤崎ふれあい喫
茶」が発足し、藤崎のみならず
周辺地域方々・保育園児、施設
に入居されている方々も参加し
交流を深めている。
27年度には地域の意見収集と
調整を高め自助・共助・公助を
基に防災関連事業を立ち上げ
る。



大師第二地区社協

車椅子体験学習

書記 齋藤 幸一



車椅子の
使い方を
真剣に聞く
子どもたち



街中で車椅子を体験する様子

四 谷小学校体育館にて四年生と
教職員・大師地区健康福祉ス
テーション副所長・保健師・区社
協職員・北島さん（手作り工房ウ
インドウ代表）・社協委員で行われ、
生徒の司会で進み、先生からの
話しの後、区社協より貸し出され
た車椅子の使い方や押し方の説明
を聞き、二つのグループに分かれ
て車椅子に乗り、障害物（マット
の上に踏み切り台を置く）・校舎内
廊下の段差を乗り越える事を学習
しその後、図書室で北島さんから
車椅子生活になってしまったこと
や、毎日がヘルパーの支援がない
と過ごせないこと等の話を熱心に
聞いて、健康な体が一番大切だと
気付くことが出来たようです。
昨年は校外に出て、自
動販売機を利用する時の
硬貨・紙幣の投入する高
さ、品物の取り出すこと
の難しさを体験しました。

親子で楽しむ ゆかいなコンサート



子育てフェスタで
親子で楽しむ♪ ゆかいなコンサートを
開催いたします。
心温まる音楽で気持ちをほぐしながら
楽しいひとときを過ごしませんか？

日 時 平成 27 年 9 月 5 日 (土)
午前 10 時～ (開場 9 時 50 分～)

会 場 教育文化会館 6 階 大会議室

出 演 音の教室 カリヨン

主 催 川崎区民生委員児童委員協議会 主任児童委員部会

問合せ 川崎区民生委員児童委員協議会事務局
(社会福祉法人川崎市川崎区社会福祉協議会)
電話：044-246-5500 FAX：044-211-8741

**参加
無料**

第13回 だいし健康福祉まつり

大師地域で活動している
ボランティアグループ・当事者団体等が、
「みんなにやさしいまちづくり」をめざして、
実行委員会を結成して
創りあげてきたお祭りです。



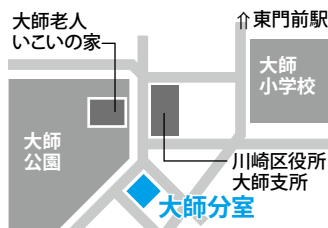
こどもから高齢者まで、
どなたでも楽しめる
企画がいっぱい！
家族・友達と一緒に…
どうぞお気軽に
おでかけ下さい！

日 時 平成 27 年 9 月 26 日 (土)
午前 10 時～午後 3 時 ※雨天決行

会 場 大師分室 (旧大師ランチ)

主 催 第13回「だいし健康福祉まつり」実行委員会

問合せ 大師地区健康福祉ステーション
電話：044-271-0157 FAX：044-271-0127



ほほえみコーナー

寄付者名 (受付順)

[平成 27 年 1 月 1 日～5 月 31 日]

- マルハン川崎桜本店 様
- 川崎区地域女性連絡協議会
会長 青木 恵美子 様
- セレサ川崎農業協同組合 様
- 東急リゾートサービス・
石勝エクステリア共同事業体
川崎国際生田緑地 ゴルフ場 様
- HULA を楽しむ会
西原 雅代 様
- 大島五丁目町内会 様
- パークホームズ川崎大師
表参道管理組合 様

福祉用具再利用 譲ります・譲ってください

現在は、
ポータブルトイレ
アウラ 21

◇利用対象者…川崎区内に在住の方

☆ 福祉用具とは…

車いす、ベッド、ポータブルトイレ、入浴補助用具、歩行器、
シルバーカー (手押し車)、杖、スロープ、紙おむつ等で
安全かつ衛生上問題なく修理を必要としないもの

引き続き、福祉用具を

- ① 譲ってくれる方
- ② 譲ってほしい方

募集中！



申込み方法

譲り
たい方

窓口、または当会ホームページにある申込用紙に必要事項を記入し、提出。
提供する福祉用具の写真を持参または画像データを区社協のメールアドレス
(info@kawasakikushakyo.or.jp) に添付します。所定の申込み用紙に物品の
状態 (型番や使用回数等) を記載してください。(写真や画像の返却不可)

譲って
ほしい方

窓口または当会ホームページにある申込用紙に必要事項を記入し、提出します。
詳しくは、区社協ホームページ <http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/>
または、川崎区社会福祉協議会 044-246-5500 まで！！

譲渡の手順 譲ってほしい方が譲ってくれる方に連絡し、詳細な情報をお聞きした後、
条件があれば、用具を引き取りに行ってください。

編集後記

とてもユニークな記事が
各地区社協から集まり、委
員さんたちの取り組む姿
勢に勇気を頂いています。
編集会議も 2 回目を迎え、
笑いがこぼれるなど和やか
な雰囲気になり意見交換も
活発に行われました。